



With コロナ（新型コロナウイルスと共存）内閣官房新型コロナウイルス等感染症対策推進室

新型コロナの感染症法上の位置づけについて、政府の対策本部は5月8日に季節性インフルエンザなどと同じ5類感染症に移行する方針を決定しました。医療提供体制の見直し、治療費の公費負担について、ワクチン接種費用について、マスクの着用や治療期間などについても今後あきらかになってくることでしょうか。新しい情報に注目していきましょう。

## 耳そうじ、どうしていますか？

### 耳の奥に綿棒を入れないこと！！

耳あかは、<sup>じじゅうせん</sup>耳垢腺、皮脂腺などからの分泌物や、古くなってはがれた皮膚、ほこりなどが混ざってできたもの。しかし単なる老廃物ではなく、耳の中のデリケートな皮膚を保護したり、異物の侵入や雑菌の繁殖を防ぐ働きもしています。人間には、物をかんだり、あくびをしたりすることで耳あかを自然に排せつする機能が備わっているため、家庭で無理に取る必要はありません。

耳あかが気になったら、耳鼻科で取ってもらうのがお勧めです（保険適用）。



### 耳の衛生のポイント (新常識！)

- ・耳あかが気になるときは、専門家に任せる。
- ・耳の奥に綿棒を入れないこと（耳あかが奥へ押し込まれ、耳の中をふさいでしまう可能性も！）
- ・耳を清潔に保つには、お風呂上りに耳の外側の水分を拭き取るだけに！



## ちゃんと聞こえているかな？

### 病気で起こる難聴があります

聞く力は、言葉やコミュニケーション力を育むために欠かせないもの。難聴がある場合は、一日も早く専門的な治療や指導を受ける必要があります。難聴には先天性と後天性がありますが、2～6歳の難聴の原因の大部分を占めるのが滲出性中耳炎です。程度は軽くても数年にわたって続くと、言葉の習得に影響が出ることもあります。聞き返しが多くなったり、テレビに近づいて聞く様子などが見られたりしたら、早めに耳鼻科を受診しましょう。

### 【難聴の原因になる感染症など】

中耳炎 おたふくかぜ 先天性風しん症候群など



妊娠中の風しん感染で、胎児が難聴になることも



おたふくかぜの後遺症で難聴になることもあるよ

